

第1学年 国語科学習指導案

日 時：令和5年 11月22日（水）公開授業Ⅰ
対象児童：滝沢市立滝沢小学校1年4組 30名
授業者：村澤 あさ子

- 1 単元名 せつめいする文しょうをよもう
教材名 じどう車くらべ（光村図書 1年下）

2 単元の見目標

- (1) 共通，相違，事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
〔知識及び技能〕(2)ア
- (2) 事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉えることができる。
〔思考力，判断力，表現力等〕C(1)ア
- (3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
〔思考力，判断力，表現力等〕C(1)ウ
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに，楽しんで読書をし，国語を大切にしてい，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
「学びに向かう力，人間性等」

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、「くちばし」の学習では問いと答えを捉えて読む学習、「うみのかくれんぼ」では大事な言葉を確かめながら読む学習を行い，事柄の順序を考えながら内容の大体を捉える経験をしてきた。

国語の授業における対話については，全体での考えの交流の中で，自分の考えを深める対話や，ペアで考えを確認し合う対話を行ってきた。しかし，友達の考えを自分の考えと比べて聞いたり，友達の考えから学んだりするという意識は低い傾向が見られる。

また，自分の考えを書くことについては，自分の見付けた言葉や文章にサイドラインを引いたり，ノートに書き抜いたりするを行ってきた。しかし，単元テストなどでは，文章の中から重要な語や文を選んで書く問題などを苦手とする児童もいる。

これらのことを踏まえ，本単元では，事柄の順序に注意しながら，文章の中の重要な語や文を選び出す力を育てたい。

(2) 教材について

本教材は，「事柄の順序などを考えながら，内容の大体を捉える」ことをねらいとしている。児童にとって身近な自動車について，問いに対する答えの文が三つという列挙型で述べられた説明文である。またそれぞれの自動車について，「どんなしごとをするのか」「どんなつくりになっているのか」という順で答えが書かれた明確な構成になっている。

児童にとって，それぞれの自動車固有の「しごと」と，そのための「つくり」を表す重要な語や文を書き抜きながら，説明されている内容の大体を捉える力を養うために適した教材である。

(3) 指導について

本単元の指導にあたっては，まず第1時において，自動車の種類について知っているものを話し合う。その際，それぞれの自動車の「しごと」についても触れるようにする。また，「しごと」だけではなく，「つくり」についても説明されていることを確認する。さらに，次の小単元のゴールである「じどう車ずかん」の1ページとなる「じどう車シート」を提示し，いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」をまとめていこうとする学習の見通しと意欲をもたせたい。

第2時では，文章全体の構成を捉える問いが二つあることと，出てきた自動車を確かめ，3つの自動車の事例を挙げて答えが書かれていることを押さえる。

第3時から第5時では，それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り，なぜその「つくり」になっているのか，「しごと」と関連付けて考えられるようにする。

第6時では，どんな順番で自動車が登場しているのかについて対話し，身近なものから順に登場していることを押さえる。

第7時では，挿絵や文章をもとに，対話を通して，さまざまな自動車の「しごと」と「つくり」の関係を考えられるようにする。また，これまで学習した文型を生かして「しごと」や「つくり」についてのクイズを作ることにより，理解を深められるようにする。

I C Tについては，教科書本文を電子黒板で提示し，サイドラインを全体で確認する際に活用する。また，それぞれの自動車の文章と挿絵，映像資料を提示する際に活用する。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	①「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 C(1)ア ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 C(1)ウ	進んで文章の中の重要な語や文を考えて選び出しながら、自動車の「しごと」と「つくり」についてのシートを作成しようとしている。

5 単元計画（7時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の種類について知っているものを話し合う。 学習のゴールを知り、本単元での学習の見通しをもつ。 			
2	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成を捉える問いの文や出てきた自動車を確認、内容の大体をつかむ。 	・知(行動観察)	・思①(行動観察) (シート分析)	
3	<ul style="list-style-type: none"> バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を読み取り、シートに書く。 		・思②(行動観察) (シート分析)	
4	<ul style="list-style-type: none"> トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り、シートに書く。 	○知(シート分析)	・思②(行動観察) (シート分析)	
5	<ul style="list-style-type: none"> クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、シートに書く。 	・知(シート分析)	○思②(行動観察) (シート分析)	
6	<ul style="list-style-type: none"> どんな順番でそれぞれのじどう車が登場しているか考え、話し合う。 		・思②(行動観察) (シート分析)	
7 本時	<ul style="list-style-type: none"> グループで選んだじどう車の「しごと」と「つくり」を読み取り、クイズを出し合う。 		○思②(行動観察) (シート分析)	○態(行動観察) (シート分析)

6 本時の指導（7時間目/全7時間）

(1) 目標

グループで選んだじどう車の「しごと」と「つくり」を読み取り、クイズを出し合うことができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
思考判断表現	グループで選んだじどう車の「しごと」と「つくり」について、重要な語や文を選び出してサイドラインを引き、そのサイドラインを基にクイズを出し合っている。	本時まで学習してきた「しごと」と「つくり」を読み取る目印となる言葉や文型を示し、サイドラインを引くことができるようにする。クイズを出す際の話し方の例を示したシートを用意し、見ながらクイズを出すことができるようにする。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ◇対話に関わる指導 □書くことに関わる指導 ●評価
導入 5分	1 前時想起	<ul style="list-style-type: none"> 本教材文の2つの大きな問いについて、それぞれの車の「しごと」と「つくり」を読み取ってきたことを確認する。 本時は、次の小単元の「じどう車ずかん」作りへ向け、グループごとに選んだじどう車の「しごと」と「つくり」を読み取り、クイズを出し合うことを確認する。
	2 課題把握	
展開 35分	【学習課題】 「しごと」と「つくり」を見つけてクイズをだしあおう。	
	3 解決の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の流れを示し、学習の見通しをもつことができるようにする。 「しごと」と「つくり」を見付けるための目印の言葉や文型を紙板書で示し、確認する。
	4 課題解決 (1) 選んだじどう車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 ・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引く。	<ul style="list-style-type: none"> 「しごと」が書かれた文に赤線、「つくり」が書かれた文に青線を引くよう指示する。 ●「しごと」と「つくり」が書かれた文にサイドラインを引いている。 グループごとに選んだ文章を音読し、サイドラインを引いた箇所を確認し合うよう指示する。
	(2) 選んだじどう車の「しごと」と「つくり」を尋ねるクイズを出し合う。 ・グループで一人ずつクイズを出し、互いに答える。	<ul style="list-style-type: none"> ◇クイズを出す際の話し方を紙板書で示し、確認する。
	5 学習のまとめ (1) グループごとに「しごと」と「つくり」クイズを出し、全体で考え、答える。 (2) 指導者が選んだじどう車の「しごと」と「つくり」クイズを全体で考え、答える。	<ul style="list-style-type: none"> ◇クイズを出す際の話し方を書いた紙を用意し、手元で見ながらクイズを出していいことを伝える。 ●サイドラインをもとにし、「しごと」や「つくり」についてクイズを出したり、答えたりしている。 文章と挿絵の資料を電子黒板で提示する。 全体でクイズの問題となる文章を音読してから、クイズを出題するようになる。

終 末 5 分	6 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題について振り返り，できるようになったことなどの共有を行う。 □振り返りの視点を示して，ワークシートに書くよう指示する。
	7 次時予告	<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを出したり，答えたりすることができた。 ・今まで知らなかったじどう車の「しごと」と「つくり」も答えることができた。

(4) 板書計画

じどう車くらべ

いろいろな車の「しごと」と「つくり」を見つけてクイズをだしあおう。

〇 しごと

〇 しごと

そのために

←

〇 つくり①

〇 つくり②

つくってある。あります。

なっています。ついています。

〇 グループでクイズ

【クイズのだしかた】

① これはなんという車でしょう？

② この車はどんなしごとをしているでしょう？

③ どんなつくりになっているでしょう？

④ ほかにありますか？

がくしゅう2

〇 みんなへクイズ

〇 スペシャルクイズ

ふりかえり

〇 がんばったこと

〇 できるようになったこと

〇 つぎにやってみたいこと